

けもかわプロジェクトを通じた有害鳥獣の 皮革等の活用と地域活性化事業

取組に至る背景・事業の目的

有害鳥獣は、農林業被害から駆除が進められているが、駆除の担い手不足や駆除後の活用が進まず埋設されている状況で、泰阜村においても大きな課題となっていた。

この課題解決の第一歩として「けもかわプロジェクト」を立ち上げた。プロジェクトでは、駆除後の皮革の活用を進めるとともに、村内外の認知度を向上させるため、皮革製品の商品試作やイベント、マスコミ等を通じたPR活動を行ってきた。

この取組をさらに継続・発展させるため、広域的な販売戦略にあわせた皮革製品の製作を本格的に展開するとともに、村民主体の猟師体験プログラムを実施していくことで担い手や後継者の育成につなげていく。

事業内容

○販売戦略の展開

各種イベント等へ出展し、商品の販売や体験教室を実施するとともに、インターネット販売の仕組みを構築した。

○製品製作部門の強化と商品化の充実

遠くに働きに出られない母親等、村内の人材を活かし、製作を委託するシステムを構築した。また、従来のストラップや名札ケースに加え、ベビーシューズやスリッパ等を商品化した。

○担い手育成事業の展開

猟師暮らしの体験イベントを開催し、興味関心を高める取組を行った。



【けもかわ狩猟体験、皮の塩処理作業】



【けもかわ商品、イベント販売とPR】

事業効果

イベント等への出店販売を6回、クラフト体験教室を7回実施し、有害鳥獣の問題を知ってもらうきっかけ作りと、製品の販売促進を行った。

村内で7人の製作人員を確保し、新たな雇用の場の創出につながった。また、年間100万円を超える売り上げに達するまでに至り、約191頭分の有害鳥獣の皮革の活用につながった。



【けもかわ製作、村のお母さん達と】

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

今回の取組をもとに、地元の母親等への雇用の場の創出を一層進めていきたい。

また、ホームページ等を活用した情報発信にも努め、有害鳥獣を取り巻く環境の改善と豊かな暮らしの提案を行っていききたい。

【選定のポイント】

有害鳥獣対策とその皮革の有効活用を図るとともに、中山間地の新たな産業化にも資するモデル的な事業を立ち上げた。ネット販売による製品の販路拡大や村内での製作委託システムを構築したことによる新たな雇用の場の創出が大いに期待できる。

団体名 泰阜村 (けもかわプロジェクト)	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先 0260-26-2111	事業費	1,878,738円
ホームページ https://www.kemokawa.com/	支援金額	1,289,000円